事例No.	2474
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	特定非営利活動法人　のってこらい

事例区分	地域活性化

タグ	・交通事業 ・地域運営組織 ・移住定住

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

一隅を照らす～地域住民主体で過疎地の交通サービスを守る～

出典

令和2年度優良事例表彰一覧

総務大臣賞

特定非営利活動法人（とくていひえいりかつどうほうじん） のってこらい

一隅を照らす
～地域住民主体で過疎地の交通サービスを守る～



この取組が高齢者のニーズに合致し、地域でたくさんの方が利用している。
取組は拡がり運行区域拡大に伴いクラウドファンディングで新しい車両も購入した。

●事例の概要

過疎・高齢化が進む、熊野市五郷町で集落の課題であった交通空白地等の交通不便問題に対し、地域住民自らが立ち上がり、平成 22 年からＮＰＯ法人を設立し、公共交通空白地有償運送の制度を活用し、地域が主体となって交通サービスを運行している。

ＮＰＯ法人の理事や役員は地域の自治会長や婦人会、老人会など地域の代表者が務めることで、地域内での利用周知や住民の要望の反映ができている。平成 22 年から 10 年続いてきた取り組みだが、平成 23 年、平成 28 年には運行範囲の拡大を行い、地域住民の要望に応えるとともに、市の交通政策の担い手として大きな役割を果たしてきた。また、一人暮らし世帯の見守り活動としての役割も果たしている。

運行範囲の拡大の際に、車両の追加購入が必要となったが、ふるさと納税のガバメントクラウドファンディング制度を活用して購入するなど、全国から共感を得られている取り組みである。



利用者の方はドライバーとの会話も楽しみながら、のってこらいを利用している。
ドライバーは利用者の方が乗車するまで外で安全を確認を行う。

●評価のポイント

三重県熊野市は、世界遺産に登録された熊野古道、美しい棚田、リアス式海岸など、歴史と文化、豊かな自然に恵まれた地域である。古くから人が行き交う場所であったためか、外に開かれた明るい雰囲気の町である。早朝に町を散歩していると、すれ違う子どもからお年寄りまで誰もが「おはようございます！」とごく自然に声をかけてきてくれる。花の窟神社では見知らぬ地元の方が丁寧に歴史を説明してくださった。このような熊野市の中で「特定非営利活動法人のってこらい」が活動しているのは、中心部から離れた過疎化が進んでいる人口 682 人の五郷（いさと）地区である。

のってこらいは、公共交通空白地有償運送のための団体であり、平成 22 年 4 月に設立された。設立当初は地域に対して熱い想いのあるドライバーの人柄によって、活動が牽引された側面も少なくない。クラウドファンディングを利用した車両の購入など、先進的な取り組みもなされてきた。しかし、残念ながら平成 30 年にドライバーの方が急逝される。五郷地区におけるのってこらいの真価が問われたのはこの時点であったと考えられる。NPO 法人のメンバーはすぐさま新たなドライバーを地域の中から発掘し、活動が途切れないように対応をしている。既にのってこらいは地域において欠かせない公共交通に成長していたと言えよう。地域の交通需要を踏まえると、ドライバーが 1 名というのは妥当な数である。しかし、ドライバーの方が旅行に出かけたり、老人会など一度に多くの人が集まる場合には、他の登録ドライバーが車を出して地区全体としてうまく回るように配慮がなされている。

のってこらいの高く評価できる点は、このように目に見えない形で地域全体がその活動をしっかりと支えている点にある。会員は令和元年時点で 146 名であり、このメンバーには高齢の利用者だけでなく、この仕組みをサポートしたいという想いのある若い世帯も含まれている。また、新たなドライバーの方も「自分の親に十分に親孝行できなかったから。」と高齢者を単に車で運ぶだけでなく、のんびりと買い物を待ったり、玄関に一番近い場所に工夫して車を停めるなど、公共交通空白地有償運送の枠を超えた温かな暮らしのサポートをしている。地区全体が大きな１つの家族のような仕組みに深く胸を打たれた。過疎地の支え合いの形として高く評価できるものである。



平成 22 年 6 月に地域の方々が尽力したことで、公共交通空白地有償運送がはじまった。



のってこらいが運営を継続していることで、高齢で車の運転ができない方も安全・安心に地域の店舗に買い物に来ることができるため、愛着ある故郷で暮らし続けることができる。



事務所には、のってこらいの役員が詰めて会計作業などを行ったりするとともにコミュニティの場所にもなっている。

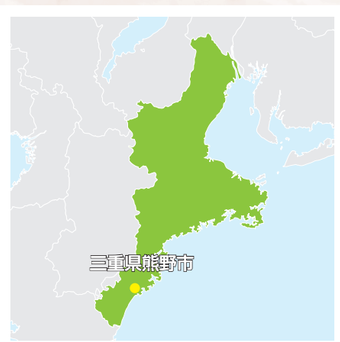
DATA 三重県 熊野市（くまのし）

団体名▶特定非営利活動法人　のってこらい
所在地▶〒 519-4674 三重県熊野市五郷町桃崎 521-1
連絡先▶ TEL：090-1596-8695

【交通のご案内】

自動車▶東名阪自動車道千音寺 IC より約２時間 30 分
南阪奈自動車道葛城 IC より約３時間 30 分
近畿自動車道紀勢線すさみ南 IC より約２時間
国道 311 号　和歌山県白浜より約２時間
国道 42 号　和歌山県串本より約１時間 30 分

鉄　道▶紀勢本線ワイドビュー南紀を利用
名古屋から熊野市まで約３時間
紀勢本線特急くろしお、紀勢本線普通列車を利用
大阪天王寺から和歌山県新宮市まで約３時間 40 分
和歌山県新宮市から熊野市まで約 30 分



● 国勢調査人口　（単位：人）

市町村名	昭和 35 年	昭和 55 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
熊野市	30,586	26,062	20,898	19,607	19,662	17,322

●人口増減率　（単位：%）

市町村名	H27/S35	H27/S55	H27/H12	H27/H17	H27/H22
熊野市	-43.4	-33.5	-17.1	-11.7	-11.9

● 高齢者・若年者比率（H27 年）　（単位：%）

市町村名	高齢者比率	若年者比率
熊野市	36.9	10.6

20-09-343　令和2年度過疎地域自立活性化優良事例表彰パンフレット.indd　11-12
2020/11/11　20:33:30